Rec'd PCT/PTO 1 5 APR 2005



特 許 協 力 条 約

10/531382

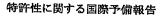
PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) (PCT36条及びPCT規則70)

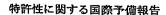
REC'D 2	1 OCT 2004	
WIPO	PCT	

四願人又は代理人 の書類記号 144192-054	今後の手続きについては、様式PCT/	/IPEA/416を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP03/13319	国際出願日 (日.月.年) 17.10.2003	優先日 (日.月.年) 18.10.2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷	C07D205/08, 477/04, C07C69/78, 69/96	C07C69/38, 69/75,
出願人(氏名又は名称)	明治製菓株式会社	
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条)の 2. この国際予備審査報告は、この表紙を)規定に従い送付する。	
3. この報告には次の附属物件も添付され a	いている。 ページである。	·
□ 補正されて、この報告の基礎 囲及び/又は図面の用紙(F	をとされた及び/又はこの国際予備審査機 CT規則70.16及び実施細則第607号	と関が認めた訂正を含む明細書、請求の範 参照)
第 I 欄 4 . 及び補充欄に示し 国際予備審査機関が認定した	たように、出願時における国際出願の 接替え用紙	引示の範囲を超えた補正を含むものとこの
b 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示すよ ブルを含む。(実施細則第80	うに、コンピュータ読み取り可能な形式 2号参照)	(電子媒体の種類、数を示す)。 による配列表又は配列表に関連するテー
4. この国際予備審査報告は、次の内容を	含む。	
□ 男Ⅳ 楓 発明の単一性の分	又は産業上の利用可能性についての国際 欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業上の 及び説明 歌	予備審査報告の不作成 利用可能性についての見解、それを裏付
国際予備審査の請求告を受理した日	国際子牌本本却什么	/f
24.03.2004	国際予備審査報告を	作成した日 30.09.2004
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番	特許庁審査官(権限 本堂社 3号	



国際出願番号 PCT/JP03/13319

第1欄 報告の基礎	
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほ	か、国際出願の質許を基礎とした
□ この報告は、	を基礎とした。 うる。 E
2. この報告は下記の出題書類を基礎とした。 (法第6: た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、こ	条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され の報告に添付していない。)
X 出願時の国際出願書類	
明細審 第 ページ、 第 ページ*、 第 ページ*、	
請求の範囲	
第	
図面 ポージ/図、 第 ページ/図*、 第 ページ/図*、 ボージ/図*、 ページ/図*、	出願時に提出されたもの
配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。	
3. 補正により、下記の書類が削除された。	
□ 明細書 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	・ ページ 項 ページ/図
4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に えてされたものと認められるので、その補正がさ	- 孫付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 られなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
□ 明細審 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	ページ 項 ページ/図
* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記	



国際出願番号 PCT/JP03/13319

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明				
l. 見解			ζ.	
新規性(N)	請求の範囲	3-4, 6-23		
	請求の範囲	1-2, 5		
	請求の範囲	3-4, 6-23		
	請求の範囲	1-2, 5		
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-23		
	請求の範囲		無	

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献 1: JP 8-325526 A (東ソー株式会社) 1996.12.10 (ファミリーなし)

請求の範囲1-2,5は、国際調査報告で引用された文献1の【0013】、【00 15】に記載されているので、新規性及び進歩性を有さない。

請求の範囲3-4,6-23に記載された化合物及び製造方法は、国際調査報告で引用された文献又は当該発明に関連があると認められるいずれの文献にも記載されておらず、かつ、当業者にとって自明なものでもない。